

令和元年度第3回かつの未来会議

日 時：令和2年2月26日（水）18時30分～20時35分

場 所：鹿角市交流センター 第1研修室

出席委員：11名（欠席：4名）

出席職員：[政策企画課] 阿部課長、古田政策監、海沼主査、佐藤主査

1 開会（進行：政策企画課 古田政策監）

ただいまから、令和元年度第3回かつの未来会議を開会いたします。

2 会長挨拶

今日は、これまでの会議での意見を基にした第7次総合計画基本構想の骨子案について、活発に意見を出していただきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

3 議事

資料1 かつの未来会議テーマ別意見集約シート

説明：政策企画課 海沼主査

（委員）前回までの意見で、子どもたちが良い印象を持つように伝えるというものが多かったのですが、良いところだけではなく、鹿角の悪いところも分かったうえで、鹿角はこういうところだと伝えたほうが良いと思います。農業のところで、Society5.0に対応した「スマート農業」に取り組むとありましたが、無人トラクターなどは農地整備されたところでなければできないと思うので、先端技術を奨励しつつ、昔からのやり方にこだわって農業を営む人にも目を向けて、農業分野全体を押し上げる方向性が良いのではないかと思います。

（委員）良いところだけでなく悪いところも紹介したほうが良いというお話がありましたが、不足していることや、困りごとなども出してもらえれば、自分にできることや役に立つことがあるかを考えるきっかけになると思います。地産地消の循環がなされているとは思いますが、移住者にとっては、どこで誰によってどのようなものが作られているかが分かるようになれば良いと思います。

（委員）（P8の）経営戦略1で「対流促進」とありましたが、移住について触れられていないのですが、対流促進ならば移住の促進が一つの策ではないのですか。

（事務局）日本全体の人口が減少していることもあり、移住という直接的な言葉は使っていませんが、市としては人口構造の若返りを目標に掲げようと考えており、人口の社会増対策として、移住にも取

り組まなければなりません。鹿角市の特長を活かして、特に子育て世代にアピールできる環境作りの強化は今後も必要だと考えています。

(委員) 例えば、(P1 基本戦略1の) 女性の活躍促進という項目で、「SDGs のゴールにも符合する」という文言が出てくるのですが、SDGs では女性の活躍ではなく、ジェンダーの平等がゴールになるのではないですか。その下の段階として女性の活躍というのが具体的に出てくるのかなと思うのですが、どのように関係づけているのですか。

(事務局) SDGs の17のゴールをそのまま市町村レベルの目標に置き換えるのは難しいので、「ジェンダーの平等の実現」の市町村レベルの課題として女性の活躍の促進を置いており、その実現が最終的にはSDGs の17のゴール群につながるという整理をしています。

(委員) ゴールというのはSDGs 全体のゴールと捉えているのですか。ジェンダーの項目だけのゴールという意味ですか。

(事務局) この部分で言えば、ジェンダーの項目ということです。SDGs のゴールやターゲットは様々ありますので、持続可能な市にしていくためには、SDGs に連動した総合戦略が必要であると考えています。今回お示ししているもの以外にも、連動する分野が出てくると思いますので、今後もターゲットになり得るところを見つけていきたいと考えています。

(委員) きれいにまとまっていますが、例えば産業振興の部分では、電機等の製造業よりも医療、福祉で働く人が多く、その人たちの給料の底上げが必要だと思いますが、給料を上げるためにどうすればいいか、具体的なイメージが浮かばないと思いました。若い人が仕事をしているときに、地域の高齢者が子どものケアをするとか、新しい発想で、鹿角ならではのものを考えれば良いと思います。

(会長) 今回の基本構想では大きな枠組みで捉えているので、この先の段階で、具体的な取組みについてのディスカッションになると考えています。

(委員) 新しい発想を持つのはいいと思いました。暮らしの中で不便なことや困ることに対して、いくら文句を言っても現状がすぐには変わらないと思います。外部の人から、鹿角の人は地元のいいところに気づいていない、情報発信も上手ではないという印象を持たれることが多く、自分たちのブランディングができていないと感じています。足りないところや悪いところがあったとして、それをそのまま言うだけでは、外部の人にはマイナスのイメージにしかならないので、こういうケアがあるから補えます、という発信も必要です。老若男女だれしも、美しいものや理想的な映像には惹かれると思いますが、例えば、スローライフとか自然に囲まれた豊かな生活の映像が映し出されると、みんな魅力的に感じると思います。でも、そういう美しい場所も不便な点はあるはずで、そういう風に見せない「見せ方」がとても上手なのだと思います。鹿角をうまくPRして、外部から人を呼び込めれば良いと思います。

第7次鹿角市総合計画基本構想（骨子案）について（資料2、資料2-1）

説明：政策企画課 古田政策監

(委員) 基本構想はきれいにまとまっていると思います。私は農家で田んぼや山を持っているのですが、跡取りがいません。自分の家族でなくても、若い人に継いでもらいたいと思っています。鹿角のいいものを次の世代に継いでもらうにはどうすればいいかを考えていましたが、そういう部分も表れていたのが良かったと思いました。

(委員) 私は畑を持ちたいと思っているのですが、身寄りがいないとどこに聞いたらいいのか分からないのでそういう情報を知ることができたらいいです。移住推進の活動をしている NPO 法人かつの classy のお手伝いをしているのですが、鹿角は素晴らしい場所だと感じていて、鹿角を守るためにどんな協力ができるかを考えていますが、そのように考える人は他にもいると思うので、鹿角のためにできることの情報があればいいと思います。若い人たちで、シェアファームなどのアイデアも出てくるかもしれないし、山もたくさん資源があるので、自然環境を守りながらいろいろなことができると思うので、知りうる場ができると、若い人に引き継ぐタイミングを作ることができ、両方のニーズに合うと感じました。

(委員) 社会情勢の分析の一つに「国際化の新たな局面の到来」という記載がありましたが、以前、中高生アンケートの実施結果の報告があった時に、語学と海外の人とのコミュニケーション能力を身につけたいという回答が多かったと思います。鹿角に限らず、今、若い人が海外で活躍したいという希望がとても多いので、国際化に対応できる人材育成支援も必要だと思います。また、暮らしの「安全・安心」の部分では、災害や防災のほかに、感染症、疾病に対する情報提供の方法や医療体制をどのように整えるのかという内容が入っているほうが良いと思います。

(委員) (P14 の) 稼げる観光に関連して、今まで八幡平アスピーテラインの開通直前に雪の回廊を歩く、鹿角ならではのイベントがあったのですが、来年度からできなくなると聞きました。危険性を考慮してとのことでしたが、そのような特色ある観光資源が利用できなくなるのは残念です。

(委員) (P4 に) 「女性が15歳から49歳までに産む子どもの数」という記述がありますが、15歳はまだ身体が未成熟な年齢なので、違和感があります。また、この基本構想の中で、鹿角らしさは何かと考えてみると、エネルギーと世界遺産についての部分ぐらいで、他はどここの自治体にでも当てはまりそうに思うのですが、そのほかに、例えば未来技術の進展の部分では私が住む中山間地域ではギャップがあると感じます。5Gについては、人体への影響を不安視する声もあるので、どのような考えで記載しているのかと思いました。全体的に、もう少し鹿角らしさが出ている基本構想になると良いと思います。良いところだけではなく、悪いところも伝えるという意見がありましたが、自分が悪いところだと思っても、他の人にとってはそうではないということもあるので、主観的にならないように、鹿角らしさを表せば良いと思います。

(委員) (P13 の) 基本戦略3の取組方針で「ごみの適正処理と資源リサイクルを進めます」とありますが、資源リサイクルを適正処理とは分けて徹底してやってほしいと思います。皆さん、ごみの分別をしていると思いますが、おおざっぱな人もいます。自分の娘が仙台にいますが、アルミ缶を10本集めると5円もらえるそうです。おそらくどこかの事業者がやっていることだと思うのですが、資源の回収にもなるし、いい取組みなので自分の自治会で真似をしてみました。リサイクル業者に買い取ってもらったお金で、自治会のボランティアと高齢者の交流会の時のお菓子を買うことができ、とても喜ばれたので、リサイクルに力を入れて取り組んでほしいと思います。

(委員) 市外から嫁いできたとき、鹿角にはいろいろな物産があったり、スキーのまちであったり、盛りだくさんですが、焦点が定まっていなかったと感じました。住んでみると鹿角の良さが分かるのですが、何か一つに特化して、道筋がはっきりしていたほうが、鹿角が初めての人にはスムーズに入り込めるのかなという気もします。(P11に)「幸福度を高めるまちづくり」という記述がありますが、人と人とのつながりが重要ですし、そういう人とのつながりによって安心して暮らせることが大切だと思います。それによって、教育や医療など大事なものが生み出されると思います。理想像かもしれませんが、そのための基本構想だと思うので、期待しながらお話を聞きました。

(委員) PTAの活動をしていますが、いろいろな機関や地域の方々が子どもたちのために関わってくれているというのを、役員となって初めて知りました。そういうことに気づいていない親御さんがたくさんいると思います。地域のつながりの希薄化という記述もありましたが、地域の方々もたくさん動いてくれていて、高齢者と子どもたちの交流の場などもあるので、親世代も積極的に参加できる仕組みができればいいと思いました。

(委員) 十和田湖や八幡平が観光の重要拠点になると思うのですが、道の駅はWi-Fi整備などされていますが、実際の観光地はあまり整備されていないように思います。例えば、八幡平のドラゴンアイでは、秋田県側でスマホの電波が弱いという話もあり、そのような小さいことが徐々に大きな差になるのではないかと思います。未来技術であれば、高齢の一人暮らしの方が電気ポットを使うと遠方に住む家族に知らせが届くなどの技術もあるようなので、こういった取組みが人手不足解消につながるのではないかと思います。私も山を所有していますが、手入れをしないとだめになってしまいます。自分が手入れに行けなければ業者に頼んだりしないといけないため、山を所有することが重荷になっている人が多いと思います。でも、需要があると分かれば、ぜひ使ってほしいと言えるので、そのようなネットワークが作られれば良いと思いました。防災についての記載もありますが、クマの被害では、刈り払いがきちんとされていれば防ぐことにつながると思うので、新規に何かを作るのではなく、維持管理を徹底することが大切になるのではないかと思います。

(委員) 後継者の話題やクマの被害など、やはり情報発信が大事だと思います。市内だけではなく、外部にも発信できるような情報発信力を鍛えることが必要だと思います。

(会長) (P2で) 計画期間が前期と後期で5年ずつの10年ということでしたが、今、世の中の移り変わりがとても速いので、スピード感をもって情報収集などに当たらないと、後手に回ってしまうのかなと感じました。また、経営戦略で「世界遺産のまち」をつくるという記述がありますが、世界遺産というのが、響きはいいのですが、果たして期待どおりの結果を生むだけのポテンシャルがあるか疑問を持ちました。さらに、情報共有の部分に関しては、市が頑張っている、それを知ることができなければ、何もやってくれないと思ってしまうので、市民が協力的になれるよう、情報公開が日本一進んでいると言われるくらい、情報公開をしてほしいです。

(委員) 鹿角には国立公園や祭りなどいろいろな良い所がありますが、地元の人あまり見に行かないような気がします。私が住んでいる所の近くの崖に、きれいなヤマユリがたくさん咲くのですが、誰も知らないと思います。そのような身近で体験できるものの発信ができれば良いと思います。

(委員) 情報の話題ですと、この前の花輪ばやしの時、栈敷席を用意したかったのですが、どこに問い合わせをすれば良いか分かりませんでした。花輪駅前が整備中でいつもと違う事情もあったようです。

が、もっと分かりやすく情報提供してほしいと思いました。

(事務局) 来年度以降、方針を具体化していくにあたり、役立つご意見をたくさんいただきました。お答えできるものにお答えしたいと思います。

農業分野の後継者不足についてですが、農業自体が稼ぐことができる販売力をきちんと確立していないと継いでくれる人がいないということになりますので、販売力のある農林業を支援するのは一つの大きな柱になると考えております。

教育については、中高生アンケートで語学力のスキルを磨きたいという意見が多くあり、未来にはばたく人材の育成について、(P13の)基本戦略5に位置付けております。地域の特色ある教育活動を実施するとしており、ふるさと教育ももちろんですが、ICT教育や語学を磨く教育について、鹿角市の特色を出せるようなものを検討していけたらと考えています。

感染症対策についてですが、きちんとした医療を受けられる体制があることで、安心安全につながっていくと思いますので、市内に診療科がないものでも、市外の医療機関とカルテの情報の共有や、スムーズに治療に結びつける体制が必要であることから、(P12の)取組方針の7に組み入れております。

観光分野では、今ある観光資源を活かすということで様々な意見をいただきましたが、今回の基本構想では攻めの取組みとして、都市経営の視点で「稼げる観光振興を推進する」と載せています。観光という分野は、行政として取り組まない市町村もあろうかと思いますが、鹿角市は観光地であり、いろいろな人が携わることで地域が成り立っていますので、鹿角市が攻めの姿勢を見せながら、しっかりと稼げる観光振興を目指したいという思いがあります。そのために、いろいろな地域資源は活用すべきと考えております。

5Gについては、人体への影響について正確に把握しておりませんが、ICTの進歩によって、例えば地域の公共交通でスマートフォンアプリを利用し、個々のニーズに応じた効率的なルート運行ができたり、その他、農業分野などでもICTの活用が広まっていくと考えております。

鹿角らしさが欲しいという部分については、特に基本戦略の5つは、どこの市町村においても行政として取り組まなければならない分野ですが、その中でも鹿角市の課題を具体的な取組みの中で手当していくべきだと考えています。鹿角市らしさとしては、経営視点で攻める3つの経営戦略である、「まちに人・モノ・外貨を呼び込む」部分ですとか、「世界遺産のまち」を目指す部分で、それに見合った取組みになるよう進めていきたいと考えています。

ゴミの適正処理とリサイクルに関しては、どちらも取組方針に据えています。

「世界遺産のまち」のポテンシャルに関しては、他の戦略に掲げている文章表現よりも抽象的で、鹿角らしさの部分として中身の取組みを厚くして具体化しないといけないのですが、これまでの世界遺産登録に向けた取組みが進むと、鹿角市の特長を出せますし、これを実現できるのは全国的に見ても鹿角市だけであるという意気込みで進めたいと考えています。

計画期間の長さについてですが、将来に渡って持続可能なまちであるためにやらなければいけないことを、もっと先の将来を見据えながら、この10年間で取り組むことを基本構想の一番の柱にしています。

(委員) 長い目で見るとということなので、本質的なことを大事にしてほしいと思います。5Gについて

は、他から遅れをとるから導入するというのではなく、違った方法で捉えることができるかもしれないので、よく考えてほしいと思います。古いものを大事にする温故知新といいますか、鹿角に眠っている古い大事なものから新しさを知ることもあると思うので、新しいものばかりではなく、鹿角に残っているものにも目を向けて、古いものと新しいものを融合してアイデアを生み出せばいいと思います。

(委員) (P13 基本戦略4の)「暮らしの安全安心を高める」という中に、水に関しての記述がないのですが、例えば他の自治体では、外資が水源を目的に山を所有している例もあるので、鹿角の水を守るということも打ち出してほしいと思います。もう少し具体的に記述してもらえれば、もっと響くと思います。世界遺産のまちの他に、永続地帯という言葉も入れてもらいたいです。永続地帯というのは、エネルギー自給率と食糧自給率が100%以上の自治体のことですが、県内ではにかほ市と鹿角市だけです。民間事業所の水力発電施設が多いからなのですが、エネルギーの地産地消を目指すのならば、それを大きく出して、市民へ周知してもらえたら良いと思います。

(委員) 山に関してですが、戦後に植えられた木が大きくなってどんどん伐採されていますが、そのあと植林をしていない所も多いと思います。懸念されるのは、自然が崩壊してきれいな水が守られないことなので、市で山林を守ることも必要ではないかと思います。先ほど、計画期間が10年間という話が出ましたが、それはSDGsが2030年までを期間としているのに合わせているのですか。

(事務局) そういうことはありません。

(委員) 産婦人科の医師確保の活動をしています。それは短期的な解決にしかならないので、鹿角市では医師を目指す人への奨学金制度もあるので、中学生くらいのうちから、教育現場で情報を発信していけたらいいと思います。

(事務局) 第5章以降の取組みをどのように肉付けするかはこれからの話になります。来月の議会にもこの基本構想を示したいと思っており、今、将来都市像がまだ空欄ですが、その際には、将来都市像に示します。これまで出てきたご意見では、幸福とか誇り、持続可能、情報共有などが将来都市像を設定するキーワードになりそうですが、その他、キーワードにしてもらいたいものがあれば教えてください。

(委員) 先ほど出ていた、古いものと新しいものの融合、温故知新がいいと思います。

(委員) 水とか、食べもの、環境などライフラインを豊かにするイメージがあるといいと思います。

(委員) 鹿角らしさという言葉がよく出ていたと思います。

(委員) 場所に人が集まると思いがちですが、2回目、3回目となると、人に集まってくるのだと思うので、人を育てる方向にシフトしていけばいいのではないかと思います。

その他

(事務局) 先ほどの事務局からのコメントに補足します。国際化に向けた人材育成や危機管理について、社会情勢の分析にも反映させたほうがいいというご意見だったと思うので、適宜追加していきます。4ページの「女性が15歳から49歳までに産む」というのは、合計特殊出生率のことで、その統計のカウントの方法によるものです。難しい言葉を使わないようにと思いましたが、誤解が生じないよ

うな記載とします。

(事務局) 次回は新年度になってからの開催となります。その際は、基本構想に基づく基本計画の施策の体系の部分についてご意見をいただきたいと思いますので、引き続きよろしく申し上げます。

4 閉会 (20:35 終了)